教　え　子　を　再　び　戦　場　に　送　る　な　！

七月七日は何の日？
日中戦争（盧溝橋事件）勃発70年

知っておきたい　1931年からの一連の戦争

1931年　9月18日（満州事変）
1937年　7月7日（日中戦争勃発）
1941年　12月8日（太平洋戦争）
1945年　6月23日（沖縄の組織的な戦闘終結　沖縄慰霊の日）
そして、　8月6日　8月9日　8月15日

七月七日は中国との全面戦争となった盧溝橋事件が起こった日です。今年がちょうど70年という節目の年です。

○高校教科書の検定で沖縄の集団自決の軍関与を削除。
○「従軍慰安婦」の政府関与の否定
○南京大虐殺の否定（教科書も「南京事件」というように書き改められてきています）

いま、あの戦争は「自衛の戦争だった」「侵略戦争ではない」「南京大虐殺はなかった」、こんな主張をする国会議員がおどろくほどたくさんいます。

（2面に続く）

アメリカで「慰安婦」決議

旧日本軍による「従軍慰安婦」の問題で米下院外交委員会が日本政府の公式な謝罪を求める決議を採択しました。

自民・民主

国会議員が米紙ワシントンポストに「慰安婦」強制性を否定する全面広告掲載（6月14日付）。米国だけでなく、アジア諸国からも批判の声があがりました。この広告が決議採択を加速させる要因になったと指摘されています。自民29議員、民主13議員、無所属2議員が名を連ねました

日本青年会議所　「靖国ＤＶＤ」
世論の批判で文科省契約辞退

文科省の研究委託を受けた侵略戦争、賛美・肯定するＤＶＤを作成した青年会議所は、委託辞退を申し入れました。（6月20日）

全教
２００７年７月９日
NO、３９９
とよなか
全教豊中教職員組合

〒561―0874
豊中市長興寺南3－5－2
TEL（06）6865－3190　FAX（06）6865-3191
Eメール　zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp
Ｗｅｂページ
http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

「勤勉手当」にシステム評価反映

管理職の説明に教職員から怒りの声

「B評価でボーナスが減るのか！」

「住民税が大幅に増えて、手取りが減っている。」

6月の給料明細や夏季一時金（ボーナス）の明細を見て、怒りの声が聞こえてきます。

今年度の評価育成システムの説明の際に、管理職から勤勉手当についての説明が行われた職場では、「こんなにがんばっているのになぜ、ボーナスが減るのか。」「良好なのになぜ、勤勉手当が減るのか」といった声が出されています。

府労組連の夏季闘争でも、成績主義なくせの教職員、府職員の声がたくさん出されました。

昨年度評価（育成シート）写しは本人に渡す

「育成シート」のコピーをもらっていない教職員がたくさんいるようです。

市教委は「育成シートの写しを本人に渡す」（06年度）としています。

育成シートは3年間保存であり、育成シートの写しをもらっていない人は、今からでも、もらうことができます。

この間、「Sの評価を受けた人がいるらしい。」といううわさを聞きました。市教委に問い合わせましたが、S評価の人はいないということです。

日本会議 国会議員懇談会

「憲法改正」
「教育基本法改正」
「首相の靖国参拝の定着化」
などを主張（結成5周年記念大会決議より）

衆参から二〇〇名を超える議員が参加。

民主党からも4議員が参加。

民主党「慰安婦問題と南京事件の真実を検証する会」

19議員

同会は、慰安婦問題で謝罪と反省を表明した「河野談話」を否定。「公権力による強制連行の事実はない」との見解をするように政府に働きかけ、安倍首相が3月、その考えを表明。

南京大虐殺についても、「大虐殺、虐殺はなかった、間違いなく」などと国会で発言（松原仁民主党衆議院議員比例選出東京）。

平和・「憲法守れ」
教職員、国民の願いとかけ離れた議員
野党・民主党にも

平和・憲法、くらし・生活が大変です。国民の意志表示ができる参議院選挙が間近です。

6月16日（土）、すてっぷで今年度第二回目となるＰＯＷＥＲＵＰ講座を開催。

前半は教材づくりで①くるくる練習器　②平均水槽　③ぱたぱたタイル　④角度メーカー・全円分度器を作成しました。

後半は作った教具の使い方の説明や算数という教科を通しての授業づくりで大切にしたいことを語ってもらいました。

「すぐにでも実践してみたい」
「“専門性”の大切さに一番共感」
何森真人さんを招いて
ＰＯＷＥＲ　ＵＰ講座　大好評

日本・世界で　あまり報道されていない情報

大阪（伊丹）空港に米軍機が着陸！

かつてベトナム戦争時、米軍機が伊丹空港にきました。その後、民間機運行の安全性や騒音公害など、住民を危険にさらしているとして、府議会や豊中市議会などが軍用機の離着陸禁止を求める決議をあげています。

ところが、07年になってからだけでも、20回近く米軍機が無断で着陸しています。私たちの知らない身近なところでも、こんな動きがあります。

民間の空港や港湾の軍事利用優先をなしくずしに進める意図があると考えられます。豊中市は米軍機無断着陸のたびに、抗議はしているようです。

講演に期待の声

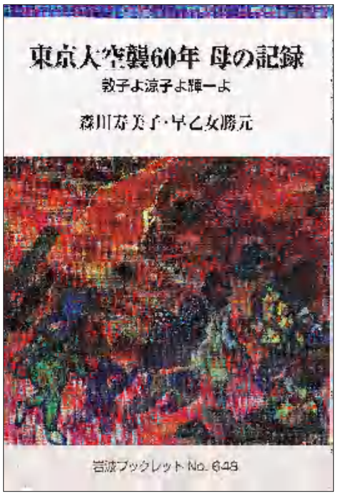
夏の宿泊教研記念講演

作家　早乙女　勝元さん

今年の豊能夏季宿泊教研（箕面観光ホテル）の記念講演は作家の早乙女勝元さんをお招きします。「ぜひ、聞きたい」「楽しみ」といった声が寄せられています。

早乙女さんは東京大空襲の地獄を体験した経験から平和の尊さを語ってこられました。この間、平和祈念館建設計画を進めていた東京都が石原都知事のもと計画を「凍結」。早乙女さんたちが「東京大空襲・戦災資料センター」をたちあげました。

たくさんの早乙女さんの出版物の中から2冊を紹介します。



『東京大空襲60年　母の記録』

岩波ブックレット

定価　本体四八〇円＋税

一夜にして10万人もの命を奪った東京大空襲。森川さんというひとりの母親の体験記。3人のわが子を亡くした体験は、涙なくして読めません。

早乙女さんが、解説で東京大空襲を語り継ぐ意味を書かれています。

『パパママバイバイ』

早乙女勝元著

日本図書センター

定価　一八九〇円

横浜市の住宅地に米軍ファントムジェット機が墜落。住宅地が大爆発。すぐさま駆けつけた自衛隊は住民を救助せず、パラシュートで脱出した米兵を救助。大爆発で2人の幼い子どもが大やけどを負い命を奪われました。母親も全身大やけどで、わが子が亡くなったのも知らずに、懸命に…。

フィクションではありません。今から30年前、一九七七年九月に起こったことです。

早乙女さんは幼い命を奪われた怒りから、この本を書きました。

沖縄の大学に米軍ヘリが墜落した時も米軍優先でした。

こんなことがあったのか？現代日本の歴史の事実を知ってください。

いずれの書籍も組合で取り扱っています。ご連絡ください。